

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2004-56871(P2004-56871A)

【公開日】平成16年2月19日(2004.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2004-007

【出願番号】特願2002-208525(P2002-208525)

【国際特許分類第7版】

H 0 2 K 21/16

H 0 2 K 1/16

H 0 2 K 1/22

H 0 2 K 1/27

【F I】

H 0 2 K 21/16 M

H 0 2 K 1/16 C

H 0 2 K 1/22 A

H 0 2 K 1/27 5 0 1 K

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

磁石を備えた回転子と、コイルをラジアルギャップ内に備えた固定子とから成り、かつ前記コイルを前記固定子の1つのティースに巻きつけた薄型ダイレクトドライブモータにおいて、前記固定子を構成するコアはオープニング形状の一体製造コアであり、かつ該オープニング距離はスロットピッチ幅からティース幅を差し引いた距離を有することにより真円度を限りなく0に近づけることが可能となることを特徴とする薄型ダイレクトドライブモータ。

【請求項2】

前記固定子ティース内に空隙を設けたことを特徴とする請求項1記載の薄型ダイレクトドライブモータ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

【課題を解決するための手段】

上記の問題を解決するため、本願の請求項1記載の薄型ダイレクトドライブモータの発明は、磁石を備えた回転子と、コイルをラジアルギャップ内に備えた固定子とから成り、かつ前記コイルを前記固定子の1つのティースに巻きつけた薄型ダイレクトドライブモータにおいて、前記固定子を構成するコアがオープニング形状の一体製造コアであり、かつ該オープニング距離はスロットピッチ幅からティース幅を差し引いた距離を有することにより真円度を限りなく0に近づけることが可能となることを特徴とする。

請求項 2 記載の発明は、請求項 1 記載の薄型ダイレクトドライブモータにおいて、前記固定子ティース内に空隙を設けたことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】削除

【補正の内容】